

平成19(2007)年1月22日(月)発行

発行者 小浜市多田2-2 中山クリニック 院長 中山茂樹

http://www.nakayama clinic.jp

## 人の天命、寿命 院長 中山茂樹

新年あけましておめでとうございます。

昨年暮れから新年にかけて暗いニュースが多く、都会では景気回復などと言われていますが、田舎では実感するにはほど遠い状況にあると思われま

す。そこで皆さん！我々は今こそ昭和30年代の生活様式や考え方に戻るのが一番充実して、幸せを実感できると思っていますのですが、なかなか一度身に付いた利便性からは脱却するのが難しいようですね。でも、早急にその方向に向かうのが地球の温暖化の予防、地球資源の浪費を抑止するのに最も近い道だと思

うのですが…。  
なお、暗い話の続きですが、昨年の暮れにここ15年で最も親しい友人を亡くしました。実の兄(私は長男なので経験はないのですが)のように慕っておりましたし私のことを心配してはいろいろ叱咤激励してくれておりました。よく飲み友達でいろんなところを飲み歩き、いろんな話題に話を咲かせ、いろんな悩みを言い合っていたものでした。ただ、病気で倒れてから3年間は24時間いつも夫婦一緒にいて私の入る余地など当然ないような羨ましい生活を送っておりました。せめてもそれが彼への救いだったように思われます。しかし、彼がいなくなると、私は路傍の石のように静寂の中に置き忘れられたような気がしております。こんな考え方をしていますと頭ごなしに叱咤されそうですが、今はそれでよいと思っています。

彼と飲んでいて意気投合し、始めたものに四十の手習いのバンドがありました。素人バンドですが、集まってがやがやしている時は一番楽しかったです。彼はサクソフをしておりましたが、非常によく練習をしておりました(熟練かどうかは判断の難しいところですが…) そのバンドマスターが抜けたのでバンドも解散になるのかな？

さて、人間には天命、寿命というものがあ

り(今回特に実感しました)、私にも当然あるものです。また、産婦人科医(外科医)としての定年も考えますと、それほど多くの時間は残っていないのかも知れません。友の死に際し、

## 尊敬できる人 栄養士 山口和美

皆さんは尊敬している人はいるでしょうか。両親であったり、恩師や有名人とか、いろいろあると思います。

ある日、中学校の娘に聞いてみたところ、「尊敬できる人はいない!」「大人はみんな信じられない」という言葉が返ってきました。私は「お母さん」とか言ってくれるのかなーとちょっと期待していたので、ショックでした。「大人は信じられない」はもっとショックでした。同時にこの娘は尊敬できる人がいないなんて、なんて悲しいことだろうと思いました。

中学に入り、反抗期でもあり、難しい時期でしたが、そんな時だからこそ信頼できる人たちが周りに必要なんだと痛感しました。今の中学では私たちの頃には考えられないような事件が沢山起こっています。先生に叱られても何とも思っていない子供たちがいます。親の私たちはどうしたらいいのか考えさせられます。

その娘ももうすぐ中学を卒業します。今では信頼できる先生にも巡り会い、「あの先生は信じられる」と言うようになりました。これからももっともっと尊敬できる人に会えたらいいな、と願いつつ、いつか「尊敬している人はお母さん」と言ってもらえるよう頑張ろうと思います。

3人目に生まれた子を抱く2人の母親と、あやす産婦人科医 一福井県小浜市の中山クリニックで



**経済的負担軽減へ**  
3人つ子応援プロジェクト  
福井県は今年度から、「ふくい3人つ子応援プロジェクト」と称して、第3子目ができた夫婦の経済的負担を軽減するため、妊娠、出産から3歳になるまでの、健康診断や医療費、保育料を無料化する政策を打ち出した。県子ども家庭課は「2人では現状維持だが3人目からは人口増を担いたい」と狙いを語る。

毎日新聞 元日の紙面 右が院長

1月中旬、当院で6人目のお子様を出産されたお母さんがおられました。当院ではこの10年間で6人出産は4人です。

**あとがき**  
新年おめでとうございます。本年もどうかよろしくお願ひします。当院「ニギヤラリ」は長らく貫井泰一郎氏の書でしたがこの一月中旬より 重田嘉平氏(小浜市熊野)の油絵に替わりました。重厚で鮮烈な色彩と形象をお楽しみ下さい。  
どなたでもこの紙面に「投稿下さい」。